



Monthly Report (#57(10) April 2026)

Your time is limited, so don't waste it living someone else's life. (Steve Jobs)

●2026年4月(2025-26年 岩淵年度)

1) 理事会報告

- 次年度(高橋年度)活動計画の提出について:4月末日までにクラブ管理運営委員会委員長宗像まで(4月7日)
- 新規賛助会員1名の承認(4月7日)
- 「ロータリーの翼」ホストファミリー協力について:事業詳細の調査を経て岩淵会長宅で1名の受け入れを行うこととした(4月14日・21日)
- URUSHI PROJECT 第二圃場候補地について:二口街道沿いの「豊後館」跡地の所有者より提供の申し出があり、今後の交渉は林会員と宗像会員に一任された(4月28日)

2) クラブ協議会報告:4月14日

2026-27年度RI会長テーマ▼

- 会長エレクトセミナー報告:Create Lasting Impactについて

次年度の国際ロータリーの活動方針として、以下の4つの重点事項が強調された。

1. ポリオ根絶への継続的な取り組み
2. 平和の推進と対話の促進:分断が進む社会で、ロータリーが対話の架け橋となる。
3. 会員増強とクラブ体験の向上:単なる増員ではなく、参加して良かったと実感できる体験の創出を目指す。
4. インパクトをもたらす奉仕活動:予算額ではなく、地域にもたらした変化を価値とする。
特に、柴田次期ガバナーエレクトからは、単発のイベントで終わるのではなく、数年後や次世代にも影響が残るような奉仕活動の重要性が説かれた。また、高橋会長エレクトは財団委員会からのご教示として「奉仕とボランティアの違い」に関する説明が伝達された。「ボランティア」が単なる無償労働であるのに対し、ロータリーの「奉仕」は、専門知識やスキルを活かして問題を解決し、持続可能性と責任を伴う戦略的な活動であると解説された。



お写真提供:高橋広会員

3) クラブフォーラム報告

- 中東情勢の各業界への影響に関する意見交換(4月7日)
ファシリテーター:岩淵会長
- 少子化と教育環境の変化に関する意見交換(4月14日)
ファシリテーター:岩淵会長
- 予感と第六感に関するメンバー間の意見交換(4月21日)
ファシリテーター:岩淵会長

- 寄付に関するクラブポリシーの確認（4月28日）
ファシリテーター：岩渕会長
- ARES プロジェクトとの青少年育成イベント進捗状況報告（4月28日）
報告者：岩渕会長

4) 臨時例会報告

- 4月5日（日）9時～ Camino de Banzan チャリティーハイクへの日程振り替え

5) 委員会活動報告

- 4月5日（日）Camino de Banzan チャリティーハイク（Green Team）
参加者 12名：ポリオプラス基金への寄付金額 12,000円
（一般参加者3名、賛助会員6名、会員2名、事務局1名）
- 4月19日（日）Camino de Banzan チャリティーハイク（Green Team）
参加者 19名：ポリオプラス基金への寄付金額 19,000円
（一般参加者8名、賛助会員8名、会員2名、事務局1名）



Camino de Banzan では
4月24日～30日の世界予
防接種週間に呼应し、チャリ
ティーハイクを行いました！
2日間で31,000円の募金
が集まりました。
全額、ロータリー財団のポリ
オプラス基金に寄付させてい
ただきます😊👥
◀4月5日 📅 4月19日▶



6) 地区活動報告

- 4月12日（日） 会長エレクトラーニングセミナー
出席：高橋副幹事/会長エレクト
- 4月17日（金）・18日（土） 国際ロータリー第2520地区地区大会
4月17日参加者：岩渕会長・林会員
4月18日参加者：岩渕会長・宮幹事・高橋副幹事・林会員

今年度の加藤ガバナー（仙台育英学園理事長）の主催による本大会は、「手を取って未来へ」をスローガンに掲げ開催された。主な活動報告は以下の通り。

- **ウクライナ支援**: 「日本とウクライナの国際共同委員会」が発足し、それに伴い多賀城の衛星クラブが設立された。ウクライナ大使からはビデオメッセージが寄せられ、ロータリーを通じた支援に対し、金額・内容ともに深い感謝の意が表された。
- **国際交流**: 友好地区である韓国ソウルから30名以上が参加。土曜日の懇親会では育英高校の吹奏楽部やチアガールが繰り出でパフォーマンスを披露し、非常に賑やかな大会となった。
- **会員数の動向**: 地区によって増減にばらつきが見られ、第7分区が1名減、第1分区が19名増であった一方、第3分区（陸前高田、気仙沼など）は13名減となった。また、平泉のクラブは解散したとの報告があった。
- **RLI（ロータリーリーダーシップ研修）**: 参加者数は年々増加しており、継続が期待されている。

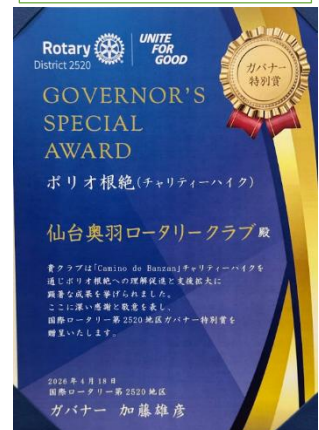
- **学生発表:** 育英高校の教員と卒業生が、塩釜湾の水産業を通じた震災復興に関する研究で「日本地理学会会長賞」を受賞し、その内容が発表された。
- **ポリオ募金:** 地区全体で約7万ドル（一人当たり37～38ドル）の募金が集まり、国際ロータリーが目標とする一人当たり35ドルを上回ったことが報告され、会員への感謝が伝えられた。
- **ガバナー特別賞受賞:** 当クラブ推薦「Camino de Banzan チャリティーハイク」が受賞した。



📷 お写真提供：林宙紀会員、岩淵雄司会員



5年連続でガバナー特別賞を受賞することができました🌟



7) 4月例会 ビジター参加

4月14日、28日 秋田陽子様（仙台レインボーRC）

●2026年5月予定

※定期例会、臨時例会はハイブリッド開催となっております。会場参加またはリモート参加が可能です。メイクアップ、ビジター参加をご希望の方は事務局へご連絡ください。【事務局：022-399-6876】

●定期例会

5月12日（火）	19時～20時	第225回定期例会	クラブ協議会・理事会
5月19日（火）	19時～20時	第226回定期例会	クラブフォーラム・理事会
5月26日（火）	19時～20時	第227回定期例会	クラブフォーラム・理事会

●クラブ行事

5月10日（日）	9時～	URUSHI PROJECT
5月17日（日）	9時～	Camino de Banzan インパクトハイク

●在仙・地区行事

5月11日（月）	在仙11RC合同幹事会	出席：宮幹事
5月17日（日）	地区研修・協議会（盛岡）	出席：岩淵会長・林会員・宮幹事

- 出席報告 4月出席率 34%
- 正会員退会報告 なし
- 正会員登録報告 なし
- 正会員数 22名（個人会員12名・法人会員10名）
- 予備会員 0名
- 補欠会員数 7名
- 賛助会員数 40名/50口（個人会員：32名/33口・団体会員：8組/17口）
- ：4月末時点の人数です



The earth is our native land. Why don't we respect and protect it?